



[トップページ](#) > [報道発表資料](#) > [環境局報道発表資料\(2017年6月\)](#) >

報道発表資料 大阪府において確認されたアカカミアリについて

報道発表資料 大阪府において確認されたアカカミアリについて

ページ番号: 404221 2017年6月23日

**問合せ先: 環境局環境施策部環境施策課 (06-6630-3209)、危機管理室危機管理課 (06-6208-9802)、
港湾局総務部総務課 (06-6615-7701)、健康局健康推進部生活衛生課 (06-6208-9980)**

平成29年6月26日 19時15分発表

同時資料提供: 大阪府政記者会、枚方記者クラブ、岸和田市記者クラブ、環境省記者クラブ

平成29年6月23日に大阪府内において発見されたアリについて、専門機関による種の同定の結果、6月26日に特定外来生物であるアカカミアリ (*Solenopsis geminata*) と確認されましたので、お知らせします。

当該アカカミアリは、フィリピン・マニラ市から貨物船で航送され、大阪市の南港で陸揚げされた貨物コンテナ (1個) 内部から発見されたものです。

当該アリを捕獲するとともに、確認地点等において、捕獲トラップとベイト剤 (毒餌) を設置しました。

1.経緯

- 6月8日 フィリピン・マニラ市の国際港を出港。
- 6月17日 大阪府大阪市の南港に到着、コンテナを陸揚げ。
- 6月20日 大阪府岸和田市にコンテナを搬送、コンテナから荷出し。
- 6月21日 空のコンテナが大阪市の南港に戻される。
- 6月22日 大阪市の南港から大阪府枚方 (ひらかた) 市に空のコンテナが移される。利用者がコンテナ内を確認したところ、アリが付着していたので、コンテナ業者に交換を依頼。
- コンテナ業者が大阪市の南港に戻ってきたコンテナの内部でアリを3頭確認し捕獲、環境省に同定依頼。職員がアカカミアリの可能性が高いと判断し、環境省から大阪府 (大阪府を通じて大阪市へ)、岸和田市、枚方市に連絡。
※ 近畿地方環境事務所から事業者を確認したところ、岸和田市内での荷出しの際にはアリは確認されていません。
- 6月26日 専門機関により当該アリがアカカミアリ (*Solenopsis geminata*) であることを確認。また、大阪市、岸和田市、枚方市のコンテナが一時的に留め置かれていた地点において、目視調査を行い、捕獲トラップとベイト剤 (毒餌) を設置。大阪市の地点では、アカカミアリ2頭を確認し、捕獲。

2.今後の対応

確認されたアリはすべて捕獲したが、コンテナが一時的に留置された地点 (大阪市、岸和田市、枚方市) において、捕獲トラップとベイト剤 (毒餌) を設置、引き続き関係機関において調査を実施。

(写真) 今回確認されたアカカミアリ



アリを確認したコンテナが留め置かれていた場所

 [地図\(PDF形式, 100.55KB\)](#)

 CC (クリエイティブコモンズ) ライセンスにおけるCC-BY4.0で提供いたします。 ☐

 Adobe Acrobat Reader DCのダウンロード(無償) ☐

PDFファイルを閲覧できない場合には、Adobe 社のサイトから Adobe Acrobat Reader DC をダウンロード(無償)してください。

3.問合せ先

- 環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室(03-5521-8344)
- 近畿地方環境事務所 野生生物課(06-4792-0706)

〔大阪市における問合せ先〕

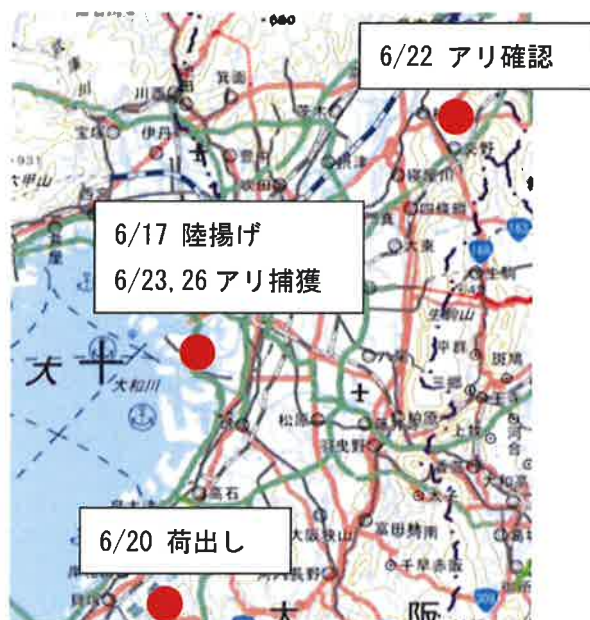
- 特定外来生物に関すること 環境局環境施策部環境施策課(06-6630-3215)
- 市の危機管理に関すること 危機管理室危機管理課(06-6208-7387)
- 港湾の管理に関すること 港湾局総務部総務課(06-6615-7705)
- 健康被害に関すること 健康局健康推進部生活衛生課(06-6208-9981)

Copyright (C) City of Osaka All rights reserved.

閉じる

スマートフォン表示

アリを確認したコンテナが留め置かれていた場所



(参考)

アカカミアリについて

1. 生態について

- 原産地：アメリカ合衆国南部～中米
- 日本での生息状況：硫黄島に定着。その他沖縄県等で確認記録があり、過去には、輸入貨物の検査時に検出された例が複数回ある。
- 亜熱帯地域の裸地や草地などの開けた環境に生息し、土中に営巣する。雑食性で、甘露や植物の種などを餌とする。水に浮んで集団で移動するなど拡散の能力が高い。

2. 懸念される影響

- (1) 生態系に関わる被害：攻撃的で高い採餌能力を持ち、他の小型節足動物などを捕食し、在来の生物多様性を減少させることが知られている。硫黄島においては他のアリ類を駆逐し最優占種となっている。
- (2) 人体に関わる被害：刺されると、アルカロイド系の毒によって非常に激しい痛みを覚え、水疱状に腫れる。ヒアリに比べると毒は弱いといわれている。



ヒアリ・アカカミアリの簡易的な同定に必要な写真（暫定版）

2017. 6. 環境省外来生物対策室

※ 今後必要に応じて更新していきます。

下記のポイントが判断できるよう写真を撮影してください。

正面



頭循前縁中央に小突起

アカカミアリは頭循前縁中央に小突起はない。他の特徴は同じ。

触覚は 10 節
先端の 2 つが大きい

横



腹柄が 2 節
(2 つのコブ)

あくまで簡易なものです。
正確な同定は専門機関にお願い
することとなります。